

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公表番号】特表 2005-530451 (P2005-530451A)  
 【公表日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-039  
 【出願番号】特願 2004-515224 (P2004-515224)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 B      7/26      (2006.01)**

【 F I 】

H 0 4 B      7/26      1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 19 日 (2007.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線移動通信システムにおける 1 対多 (point-to-point) 無線サービスの提供方法において、

前記 1 対多無線サービスを区別するための識別子を生成する段階と、

前記生成された識別子を前記 1 対多無線サービスのためのデータユニットのヘッダに含める段階と、

前記データユニットを F A C H (Forward Access Channel) 又は D S C H (Downlink Shared Channel) で端末機に伝送する段階と

を含むことを特徴とする 1 対多無線サービスの提供方法。

【請求項 2】

前記 1 対多無線サービスは、M B M S (Multimedia Broadcast/Multicast Service) サービスであることを特徴とする請求項 1 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

【請求項 3】

前記識別子は、M B M S (Multimedia Broadcast/Multicast Service) R N T I (Radio Network Temporary Identifier) であることを特徴とする請求項 1 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

【請求項 4】

前記識別子は、R R C (Radio Resource Control) 階層で生成されることを特徴とする請求項 1 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

【請求項 5】

前記 R R C 階層は、無線ベアラが設定されるときに前記識別子を生成し、前記無線ベアラが解除されるときに前記識別子を廃棄することを特徴とする請求項 4 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

【請求項 6】

前記識別子は、R R C (Radio Resource Control) 階層により割り当てられることを特徴とする請求項 1 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

【請求項 7】

前記 M B M S サービスは、マルチキャストサービスであることを特徴とする請求項 2 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

**【請求項 8】**

前記データユニットは、プロトコルデータユニット (Protocol Data Unit) であることを特徴とする請求項 1 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

**【請求項 9】**

前記データユニットは、前記識別子の種類を指示するためのインジケータを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

**【請求項 10】**

前記識別子は、C R N C (Controlling Radio Network Controller) により管理されることを特徴とする請求項 1 に記載の 1 対多無線サービスの提供方法。

**【請求項 11】**

無線移動通信システムにおける 1 対多無線サービスの受信方法において、

前記 1 対多無線サービスを指示する識別子が含まれたヘッダを有するデータユニットを F A C H (Forward Access Channel) 又は D S C H (Downlink Shared Channel) で受信する段階と、

前記 1 対多無線サービスのための前記データユニットを前記識別子を利用して M A C 階層で確認する段階と、

前記データユニットの 1 対多無線サービスデータを上位階層に伝送する段階とを含むことを特徴とする 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 12】**

前記 1 対多無線サービスは、M B M S (Multimedia Broadcast/Multicast Service) サービスであることを特徴とする請求項 11 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 13】**

前記識別子は、M B M S (Multimedia Broadcast/Multicast Service) R N T I (Radio Network Temporary Identifier) であることを特徴とする請求項 11 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 14】**

前記識別子は、ネットワークの R R C (Radio Resource Control) 階層で生成されることを特徴とする請求項 11 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 15】**

前記 R R C 階層は、無線ペアラが設定されるときに前記識別子を生成し、前記無線ペアラが解除されるときに前記識別子を廃棄することを特徴とする請求項 14 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 16】**

前記識別子は、R R C (Radio Resource Control) 階層により割り当てられることを特徴とする請求項 11 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 17】**

前記 M B M S サービスは、マルチキャストサービスであることを特徴とする請求項 12 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 18】**

前記データユニットは、ネットワークから受信されたプロトコルデータユニット (Protocol Data Unit) であることを特徴とする請求項 11 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 19】**

前記データユニットは、前記識別子の種類を指示するためのインジケータを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 20】**

前記上位階層に伝送される前記データユニットの前記 1 対多無線サービスデータは、ヘッダが除去されたデータユニットであることを特徴とする請求項 11 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。

**【請求項 21】**

前記識別子は、C R N C (Controlling Radio Network Controller) により管理されることを特徴とする請求項 1 1 に記載の 1 対多無線サービスの受信方法。